

2022年度 オータムフェスタ特集

北療育医療センターはセンター全体行事として、毎年10月に『オータムフェスタ』を開催しております。期間中は、Withコロナの中、感染対策を十分に配慮した上で内容を創意工夫し、各部所合同イベントを27日(木)、28日(金)、31日(月)の3日間、他にもスタンプラリー、ゴルフ大会などなど様々なイベント・アトラクションを企画し利用児者のみなさまに楽しんでいただきました。

今年度は3年ぶりとなるライブも開催!! あいにくの空模様で、予定していた野外ライブは叶いませんでしたが、4部所を順番に訪問して生LIVEをお届けくださり、演奏者の想いや歌声を間近で聴くことができました!(^^)!

では、楽しいフェスティバルの様子を各担当からご案内しま〜す♪(^^♪

♥ YUKA & TOMO
& naoyuki LIVE ♥



今年度は3年ぶりのライブを開催! 中庭での野外LIVEを予定しましたが、あいにくのお天気のため各部所を巡り生ライブをお届けしました♪

今回、演奏に来ていただいたのは、シンガーソングライターYUKAさんとともに活動しているTOMOさん、naoyukiさん3人のユニットです。あらかじめ全部所の利用児者の方々からリクエストを募り、秋桜、小さい秋みつけた(明るいバージョン)、ツバメ、亜麻色の髪の乙女、サザエさん、池袋の女など10曲以上のあらゆるジャンルをご用意していただきました。

通園では、子どもたちも一緒に踊りだし、病棟では念願のデュエット、誕生月の方へのサプライズハッピーバースデーソング、訪問の先々でステージは一体となり、会場は楽しい歓声や笑顔で包まれました。

4カ所でのハイスピード過密スケジュールライブのセッティングは、院長自ら機材運搬を率先し、演者も機材スタッフも息を切らして運動会のような感じでしたが、利用者みなさまは、間近で心に響く歌声を感じることができました!(^^)! 後日、演者のみなさんとお会いした際も「とても心に残るイベントで感動しました!音楽続けていて本当によかったです。また、お会いできる日を心より楽しみにしています!」とのお言葉をいただきました。



ゴルフ大会
中庭で10月中開催しました!
センター名物ホールは手ごわい…

北療版 おさんぽビンゴ!
1階わたり廊下~通所入口
おさんぽしながら、隠れているおいしいものを
探したよ! 一列そろったらビンゴ!(^^)♪



♥ディスクオルゴール訪問コンサート♥

昨年に引き続き、フジゲン（株）安曇野第一工場よりディスクオルゴールをお借りし、みなさまのリクエストにお応えしながら、A1・A2・通所・通園・B1・B3・指導科前など、10月中、センター内至る所に素敵な音色をお届けしました♪



みなさま、それぞれに「笑顔・真剣・神妙・歓喜・リラックス・温和・安堵・おやすみなさ〜い・いつもよりごはんが進む〜(^)」などの様子や表情が見られました。他の楽器等の演奏とも違い、ディスクオルゴールでしか、なしえない力あるようです。。

ゆるやかな楽しいひとときをみなさまそれぞれに過ごされました♪

B1・B3・通所・訓練科 合同イベント

ミニボーリング

B1病棟では、オータムフェスタのイベントに、ミニミニパチンコボウリングのゲームを出店しました。ミニミニパチンコボウリングとは、パチンコの原理を利用したミニボウリングで、ゴムを使いボールをはじきピンを倒すゲームです。ゴムには紐がついてあり、紐を引いてピンを倒してもOK。ピンを倒した数に限らず、参加すれば好きな景品を選べるシステムで、多くの方に参加していただきました。



B1病棟の利用者の方は、ゴムについている紐を引き参加している方が多かった中、ゴムを使用せず直接手でボールを転がす方もいました。たくさんピンが倒れた時は、利用者・職員ともに盛り上がり笑顔が多く見られました。ゲーム終了後、いざ景品場へ。景品は、タオルや靴下・お菓子・おもちゃなどさまざまな物があり、すぐに景品を選べる方、迷ってなかなか景品を選べない方もいましたが、皆さん思い思いの景品を選び持ち帰っていました。

病棟に帰ると、景品を担当看護師に見せ、自慢している方もいました。また、他の利用者がこのゲームの参加に出かけるところで、もう一度行きたいとアピールする利用者の方もいて、楽しんでいただけたことを実感する出来事もありました。これからも、利用者の方が楽しめる行事を考え提供していかなくてはと、再確認するオータムフェスタでした。

ホバークラフトゲーム

B3 病棟ではホバークラフトのゲームを行いました。ホバークラフトとは、トントンと軽く叩きつけると空気が入り、手や道具を使って押し出すとスーッと滑らかに進む不思議な遊びです。ゲームとしては点数を狙って滑らせ3投の合計点で高得点を目指すものです。



力加減がポイントとなるため、利用者の方々は一人で挑戦される方、職員の方と挑戦される方もそれぞれ徐々にコツを掴みながら楽しまれていました。ピタッと高得点に止まることがあれば、滑りすぎてしまうことも。さらにはすでに滑らせていたものに当たって点数が入るナイスプレーもありで賑わいました。

ゲーム後の景品選びでは皆さんゲーム中とはまた違ったキラキラとした笑顔で景品を選ばれていました。

チェキ写真撮影

訓練科は毎年好評のチェキで写真撮影！利用者様の記念写真を撮影するというイベントを担当しました。まずブースの入口で抽選券を選んでもらって、福引などで使うガラポンを回して、出た玉の色で、S賞 アメリカ・ハワイ、A賞 フランス・パリ、B賞 エジプト・ギザ、C賞 京都、D賞 東京ディズニーランド、K賞 ?????(実は北療正面玄関前)という具合に旅行先が決まり、その背景の前で写真撮影をします。ガラポンは紐を引っ張ると音が出るように工夫しましたが、なかなか玉が出なくて苦戦していました。



京都が当たると付き添いの職員から「舞妓さんと写真が撮れる！舞妓さんと写真が撮れる！」とはやし立てられてテンションが上がったり、B1 病棟の方はベットのまま来室する方もいて、まるで魔法のじゅうたんに乗って旅行をしているようで、コロナ禍ならではの素敵な旅の思い出ができました。チェキで撮った写真はインスタントカメラ特有の“良い具合にぼやけていて”、まるで現地へ行って撮って来たような仕上がりになりました。



忍者屋敷

ヒラヒラと揺れるカーテンをくぐると忍者修行の始まりです。まずは「手裏剣投げ」に挑戦。自分で投げてでも投射器を使ってもOKで箱の中を目掛けて飛ばしますが、なかなか難しい修行です。それでも5投中3個入る強者も現れました。

次の「槍の通路」では飛び出している槍を避けながら通過していきます。刺さらないかとヒヤヒヤ表情の方もいれば、スイスイと余裕の表情の方もいて、中には槍に触れるという勇敢な方もいました。無事に進むと「透視の術」のコーナーへ。2つの城のうちどちらに忍者が隠れているかを見破ります。更に前進すると「忍びの廊下」があり、一切の音を立てずに渡り切らなければなりません。天井の鳴子に気を取られると廊下がバリバリと音を立て…。しかしこの廊下、卵パックが敷き詰められていて、どんなに注意を払っても絶対に音が鳴ってしまいます。それでもゆっくり慎重に渡り切り、最後に回転扉をくぐってホッと安堵。ハラハラドキドキの修行が終了しました。



探し物ゲーム

通所恒例「探しものゲーム」。今回の探しもののテーマは忍者。受付で渡された絵カードと同じものを探しにいざ出発！廊下中に貼り隠された忍術や忍者のアイテム、中には忍者をモチーフとされたアニメなどが書かれた絵カードを探しに行きました。隅の方に隠れていたり、忍者屋敷の装飾に紛れていたり…。キョロキョロと時間をかけて探している方が多くいらっしゃいました。

同じものを見つけ、受付に戻ってくると、本当に同じものなのかチェックがあり、ドキドキの時間でした。スタッフから「自信は？」と聞かれると「ある！」と答えている方が多い印象でした。見事正解すると、嬉しそうな笑顔が見られたり、拍手されると少し照れたりしていました。残念ながら不正解になってしまった方も数名いらっしゃいました。間違えた絵カードは元の場所に戻して再スタート。今度こそ！と持ってきた絵カードは見事正解。ほっとしたような様子で、みなさん最後には無事、同じものを見つけていました。

